

科目分類	統合分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	在宅看護援助論 I (在宅看護技術の実際)	学 期	前 期	河上 葉子 (看護教員) 齋藤 貴美子 (看護師)
		単 位 数	2	
		時 間 数	45	
目 的 (ねらい)	在宅療養者の特徴を理解し、療養者の状況に応じて展開される在宅看護技術を学ぶ。			
目 標	1. 療養者の生活を基盤とした日常生活援助技術について理解する。 2. 在宅療養を支える専門的なケアや看護技術について理解する。 3. 療養者が在宅で生活する意味について考察する。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	訪問時のマナー	訪問時のマナーの重要性とその基本	講義
	2	在宅における療養環境	在宅での療養環境の特徴、整備に関する制度	講義
	3	訪問時のマナー・療養環境	訪問時のマナーを身につける、療養環境を考える	演習
	4・5	在宅リハビリテーション・服薬援助	在宅リハビリテーションの特徴と援助 } 在宅における服薬援助の重要性と援助 } 事例をもとに在宅リハビリテーションを } 考える / 配薬箱の作成と発表 } }	講義・GW GW 発表
	6	食生活	在宅療養における食事とその援助	講義
	7	清潔・衣生活	在宅療養における清潔とその援助 } 更衣の意味と在宅での衣服の選択 }	講義
	8	食事・清潔・衣生活	介護食の試食、事例に応じた安全安楽な入浴介助方法と更衣の介助方法を実践する	演習
	9	排泄	在宅療養における排泄援助と関連する課題	講義
	10	移動と活動・睡眠	自立支援を目指した安全安楽な移動方法 } 高齢者の睡眠の特徴と在宅での睡眠援助 }	講義
	11	排泄・移動	事例に応じた排泄・移動の介助方法 } 関節可動域訓練の実践 }	演習
	12	認知症療養者の看護	事例をもとに在宅看護を考える	講義・GW
	13	感染症療養者の看護	4つの感染症をジグソー学習する	GW
	14	在宅中心静脈栄養と胃瘻の療養者の看護	在宅中心静脈栄養法と在宅経管栄養法の看護	講義
	15	脳血管疾患療養者の看護	脳血管疾患の特徴・DVD 視聴・事例検討	講義
	16	慢性心不全・CAPD 療養者の看護	在宅で療養するための具体的支援	講義
	17	在宅で人工呼吸器・気切・吸引を行う療養者の看護	対象者が在宅で療養するための具体的支援 } 事例をもとに看護を考える }	講義・GW
	18	COPD・在宅酸素療法を受ける療養者の看護	在宅酸素を必要とする療養者への具体的支援	講義
	19	在宅医療機器の体験(業者)	在宅酸素、NPPV の機器を触ってみる	講義・演習
	20	難病を持つ療養者の看護	難病をもつ療養者の特徴と在宅でのケア } 事例をもとに看護を考える }	講義
	21		グループで資料を作成し発表する	GW
	22	在宅実習で役立つ資料づくり	事例をもとに看護を考える	講義
	23	在宅ターミナルケア 在宅看護技術の資料づくり	グループで資料を作成し発表する	講義

教科書	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版 ナーシンググラフィカ「在宅療養を支える技術」メディカ出版
参考文献	新版 在宅看護論 木下由美子他 医歯薬出版 根拠がわかる 在宅看護技術 第2版 岡崎美智子 メヂカルフレンド社 国民衛生の動向、新聞、専門雑誌等
評価方法	定期試験は、1. 齋藤教員（25点） 2. 河上教員（75点） 合計 100点満点での結果を最終評価とする。 河上教員の評価は、定期試験 90%、授業への参加度 10%で総合的に評価する。
関連科目	社会学 心理学 人間関係論 生命倫理学 環境と人間 保健医療論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉と法規 看護関係法規 基礎看護学 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学
自己学習に関する指針	メディアを積極的に活用し、「在宅看護」「在宅医療」等に関する情報を各自で得ること。 基礎看護学で学習したことをふまえて、在宅における看護を学んでいくため基礎看護技術等を復習しておくこと。 在宅看護概論の学びを復習しながら授業を受けること。
その他の通知事項	質問には適宜応じる。